



新規就農対策補助事業 認証授与 3/26

町農業振興対策協議会（会長・酒井芳秀町長）は、町が今年度から新たに実施する新規就農対策補助事業の適用を受け、新規就農を目指して農業研修を始める3名に、研修生としての認証を授与しました。

適用を受けるのは、茨城県の元会社員松山宏さんと裕美さん夫婦、札幌市の元会社員佐藤誠宏さんの3名。「農業経営という夢に向かっての第一歩。感謝を忘れず自立に向け努力し、この地で夢を実現したい」と抱負を語りました。3名は、2軒のミニトマト農家でそれぞれ2年間研修した後、町内での独立を目指します。



町立病院 相互診療開始 4/5

町民への医療サービスの充実を図るため、町立静内病院（小松幹志院長）と町立三石国保病院（三浦正次院長）は、両院長が相互に出向いて診察する『相互診療』を開始しました。

相互診療は毎月2回、第1・第3木曜日の午後（13時30分～16時00分）から、小松院長が三石国保病院で循環器科を、三浦院長が静内病院で小児科の外来診療を行います。



三石老人クラブ創立50周年 4/15

三石老人クラブが創立50周年を迎え、記念式典・祝賀会が町福祉センターで開かれました。約40人が出席し、昼食を食べながらカラオケなどを楽しみ、50周年を祝いました。



第4回新ひだかスクールバンドフェスティバル 3/24

静内中学校と静内第三中学校、三石中学校、静内高校吹奏楽部による『第4回新ひだかスクールバンドフェスティバル』が町公民館で開かれ、部員たちが、日ごろ部活動で積み重ねてきた練習の成果を披露しました。

各校2～3曲ずつ演奏し、最後に総勢80人による合同演奏が行われ「THE LION KING」など2曲を披露。迫力のある演奏と生き生きとしたブラスの音色に、約150人の来場者から大きな拍手が送られました。



レキシントン市友好親善訪問団派遣 3/24～4/1

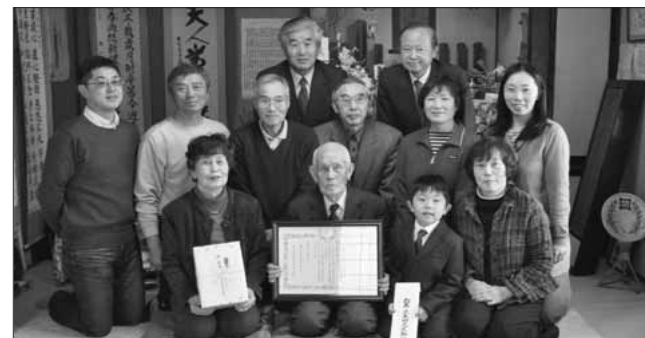
姉妹都市の米国レキシントン市を、今年度の友好親善訪問団（五十川敏団長ほか10名）が訪れ、学校訪問や市内の施設見学、市長への表敬訪問のほか、ホームステイなどを通して異国文化を学び、交流を深めました。

帰国した団員は「ホストファミリーに大変親切にしてもらい、毎日が楽しかった」「文化や生活の違いを肌で感じ、市民との交流で有意義な時間を過ごせた」などと話していました。



春の町民安全大会 4/13

『交通事故死ゼロを目指す』春の町民安全大会が町福祉センターで開かれ、交通安全団体や小学生など町民約250人が参加し、痛ましい交通死亡事故の撲滅を誓いました。



白寿祝状授与 3/22

三木田久之助さん（静内豊畑）が3月22日に白寿を迎え、酒井町長から祝状、町社会福祉協議会・佐藤副会長から記念品が贈られました。

三木田さんは、13歳から家業の鍛冶屋を継ぎ、蹄鉄や農具の製作を昨年の夏まで続けてきました。現在は、80歳から始めた書道が楽しみで、3人の娘と共に「親子展」を5月25日～27日に町公民館で開く予定とのことです。

酒井町長や家族からのお祝いの言葉に「皆さんに祝っていただき、感謝しています」と話していました。



みついしハマナススポーツクラブ設立 3/24

総合型地域スポーツクラブ『みついしハマナススポーツクラブ』の設立総会が、みついしふれあいプラザで開かれました。

総合型地域スポーツクラブは、地域の子どもからお年寄りまで、誰もが気軽にさまざまなスポーツに親しむことができるスポーツクラブで、三石地区のスポーツ活動の活性化を目的に設立されました。総会には、スポーツ関係者ら約50人が出席し、今年度の事業計画等が決定されました。



三石地区カルタ大会 3/25

三石かるた同好会による『三石地区カルタ大会』が町福祉センターで開かれ、小学生から一般まで47人が出場し、すばやい動きで札を取り合い、熱戦を繰り広げました。



まちのできごと、話題をお届けします。



砂入り人工芝コート完成記念 ソフトテニス教室 3/18

昨年9月から行われていた静内川右岸テニスコートの改修工事が完了し、砂入り人工芝を使った新しいコートが完成しました。

完成を記念して、昨年韓国で開かれた第14回世界ソフトテニス選手権大会・女子ダブルスで優勝した町内出身の佐々木舞選手によるソフトテニス教室が開かれ、町内外から約200人が参加しました。参加者は、フットワークやストロークのコツなどのアドバイスに真剣に耳を傾けていました。



ミニトマトドレッシング試食会 3/20・21

NPO法人木の実福祉会による『ミニトマトドレッシング試食会』がピュアプラザで開かれました。これは、町のドリカム推進事業補助金を活用して開発され、静内産のミニトマトが使われています。